

具体的取り組み内容

食の安全・安心の確保

熊本市における食中毒発生状況(平成25年)

| No. | 発生年月日 | 原因施設 | 摂食者数 | 患者数 | 死亡者数 | 原因食品 | 病因物質 | 処分内容 |
|-------|-------------|------|------|-----|------|----------------------|-----------------------|--|
| 1 | 平成25年7月11日 | 下宿 | 8 | 4 | 0 | 7月10日の昼の弁当 | 黄色ブドウ球菌 | 調理業務自粛2日間 (7/14~15) |
| 2 | 平成25年10月2日 | 飲食店 | 29 | 14 | 0 | ヒラメの握り寿司及びヒラメ入り太巻き寿司 | 寄生虫 (クア・セフテン・ンクター) | 営業自粛1日間 (10/3) |
| 3 | 平成25年11月17日 | 飲食店 | 14 | 11 | 0 | 11月16日に提供された食事 | カンピロバクター・ジエジエニ | 営業停止3日間 (11/23~25) |
| 4 | 平成25年12月21日 | 飲食店 | 38 | 18 | 0 | 12月21日に提供された食事(夕食) | ノロウイルスGⅡ | 営業停止2日間 (12/26~27) (12/25は業者が自粛) |
| 5 | 平成25年12月22日 | 飲食店 | 43 | 20 | 0 | 12/21夜の宴会料理 | ノロウイルスGⅠ、GⅡ | 営業停止2日間 (12/26~27) (12/25は業者が自粛) |
| 合計 5件 | | | | 67 | 0 | | | |

I 生産・流通・消費の各段階における食品の安全性確保

1) 生産段階における食品の安全性の確保

～安全に配慮した農林水産物づくり～

【成果指標】

| No. | 項目 | H24(基準) | H30(目標) |
|-----|-----------------------|---------|---------|
| 1 | 「残留農薬」について不安を感じる市民の割合 | 55.7% | 50% |

【取り組むべき施策】

- 1) 安全な農林水産物の生産・供給
- 2) 農薬・肥料・動物用医薬品等の適正使用の推進
- 3) 生産履歴記帳の推進



【具体的な取り組み(行政)】

| No. | 取り組み名称 | 関係部署名 | 業務内容 | 評価指数 | 1次計画(H24)実績 | 評価指標 | | 進捗状況等 | |
|-----|---------------------------|---------------------------|---|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|----------------|---|--|
| | | | | | | H30目標 | H25実績 | H25 業務内容等 | |
| 1 | 食品の安全安心対策検査 | 食品保健課 環境総合センター | 残留農薬の検査 | のべ 残留農薬 検査数 (検体/項目数) | 70検体 214項目 | のべ 480検体 /6年 (最大 250項目) | 86検体/ 214項目 | 国産/輸入 野菜・果実 80検体/年 輸入 冷凍野菜 6検体/年 目標は、「H25年度熊本市熊本市食品衛生監視指導計画」により、検査計画数： 86検体 | |
| 2 | 食肉中の残留有害物質対策 | 食肉衛生検査所 環境総合センター | 残留有害物質モニタリング検査 (残留農薬等のポジティブリスト制への対応) | モニタリング 検査数 (検体/項目数) | 160検体12 項目 | 160検体 20項目 | 140検体 12項目 | ・対象 健康畜 (馬20検体、豚120検体) ・回数 年7回 | |
| 3 | 安全安心で高品質な農林水産物の生産指導と消費拡大 | 農商工連携推進課 各区役所 農業振興課 | 農薬・動物用医薬品等の適正使用の推進やトレーサビリティ導入へ向けた生産履歴の記帳の推進 | — | 年間を通して実施 | 年間を通して実施 | 年間を通して実施 | 県・市・JAとの連携による農薬動物医薬品等の適正使用の啓発 エコファーマーやトレーサビリティ導入へ向けた生産者の意識の向上を図った。 | |
| 4 | 水産物の安定提供及び安全性の確保 | 水産振興センター | — | — | 異物除去機 導入率 100% | 継続 実施 | 100% | 機器の導入は100%に達したものの、機器のメンテや感度の調整など運用面について改善すべきところが見受けられたため、各種の会合を活用して指導・啓発を図っていく。 | |
| 5 | 農産物直販所協議会による各種研究会やイベントの開催 | 農商工連携推進課 各区役所 農業振興課 | 熊本市農産物直販所協議会による研修会、合同イベント開催 | 協議会会 員数 | 1,069 直販所の 売上額 (百万円) | 継続 実施 | 9 | ・びふれす広場での熊本市産農産物合同販売会の開催 ・その他各種イベントへ出展 | |
| 6 | 家畜防疫確立対策事業 | 各区役所 農業振興課 | 家畜予防接種実施に対する助成 | のべ実施 頭数 (頭) | 3,885 | 継続 実施 | 2,520 | ・家畜予防接種実施に対する助成 | |

※ N02 H27年度から食肉センターのと畜機能移転により事業中止予定

I 生産・流通・消費の各段階における食品の安全性確保
 2) 製造、加工、流通・販売の各段階における食品の安全性の確保
 ～食品添加物や不正表示など食品に対する不信解消をめざして～

【成果指標】

| No. | 項目 | H24(基準) | H30(目標) |
|-----|------------------------------|---------|---------|
| 2 | 「食品添加物」について不安を感じる市民の割合 | 63.3% | 50% |
| 3 | 「食品の不正(偽装)表示」について不安を感じる市民の割合 | 51.6% | 40% |
| 4 | 「輸入食品」について不安を感じる市民の割合 | 65.2% | 50% |

【取り組むべき施策】

- 4) 食品営業施設等に対する監視・指導の徹底
 5) 食中毒予防のための衛生教育の実施と最新情報の提供
 6) 高度な衛生管理システムの普及と導入の支援
 7) 食品関連事業者が行う自主的衛生管理に対する評価
 8) 給食施設における安全性確保
 9) と畜場における衛生管理の徹底
 10) いわゆる健康食品等による被害の防止
 11) 適正な食品表示の監視・指導



【具体的な取り組み(行政)】

| No. | 取り組み名称 | 関係部署名 | 業務内容 | 評価指標 | 1次計画(H24)実績 | 評価指標 | | 進捗状況等 | |
|-----|------------------------------------|--------|---|-----------|-------------|--------------|---------|---|--|
| | | | | | | H30目標 | H25実績 | H25 業務内容等 | |
| 7 | 熊本市食品衛生監視指導計画に基づく監視・指導 | 食品保健課 | 熊本市食品衛生監視指導計画に基づく監視・指導及び飲料水の衛生確保 | 監視ポイント数 | 23,859 | 年度ごとに策定 | 20,910 | 春季、夏期、年末・年始に業種等に応じた一斉臨検を実施。 ※ 目標は、「H25年度熊本市熊本市食品衛生監視指導計画」により、監視ポイント数； 22,050 ポイント ※今後も、効率的な監視指導の実施のため、業種・ランクに応じた計画的な監視指導を実施していく | |
| 8 | 出前教室・講座、講習会等による衛生教育や情報提供 | 食品保健課 | 行政機関、教育機関等の職員が講師として地域に出向き講座や教室を開催 | のべ受講者数(人) | 8,119 | のべ60,000人/6年 | 10,824 | 食品営業者等を対象とした衛生教育 92回 市民対象の講座 86回 その他講習会等 9回 を実施 ※今後も、市民の食品衛生知識の啓発や食品営業者等の衛生意識向上のため様々な働きかけを行いながら講座等を開催する | |
| 9 | HACCPやトレーサビリティの考え方に基づく衛生管理手法の普及・啓発 | 食品保健課 | 自主評価基準の設定、HACCPの概念を取入れた施設の養成、認証施設の検証 | - | 継続実施 | - | 継続実施 | 普及啓発を実施 | |
| 10 | 衛生功労者及び優良衛生施設等の表彰などによる評価 | 食品保健課 | 市長表彰等を通じ、衛生意識の向上を図る | 開催数(回) | 1 | 1回/年 | 1 | 平成25年11月18日(月)開催 食品衛生功労者 2名 食品衛生最優良施設 2施設 食品衛生有料施設 12施設 | |
| 11 | 栄養管理、調理師研修会(衛生教育)の開催 | 食品保健課 | 栄養管理、調理師研修会開催(食中毒予防、栄養管理) | のべ受講者数(人) | 729 | のべ4,200人/6年 | 423 | 調理師研修会 1回 栄養管理研修会 2回 合同研修会 1回 を開催 | |
| 12 | 給食施設に対する安全対策の啓発 | 食品保健課 | 給食調理従事者に対し、食品の衛生的な取扱いに関する知識の普及啓発。給食施設・設備の衛生確保を通して食中毒の発生予防 | 監視ポイント数 | 40.1%(監視率) | 年度ごとに策定 | 1,107 | 給食施設 立入数 246施設 (対象施設数 624施設) ※ 目標は、「H25年度熊本市熊本市食品衛生監視指導計画」により、監視ポイント数； 1,054 ポイント | |
| 13 | 検便時の指導 | 感染症対策課 | 学校、保育所等における検便後の衛生指導 | - | 0件 | 随時 | 0件 | 学校、保育所等における検便後の衛生指導 | |
| 14 | 衛生管理研修会 | 健康教育課 | 給食調理職員等を対象とした衛生管理研修会 | 開催数(回) | 8月1日実施 | 1回/年 | 7月25日実施 | 学校給食関係職員(民間委託先の調理員等も含)約850人を対象に学校給食の衛生管理について研修会を実施 | |
| 15 | 給食物資選定委員会の開催 | 健康教育課 | 学校給食用物資の品質・味・内容分析を確認 | - | 実施 | 継続実施 | 実施 | 給食用物資の品質・味・内容の検討および使用品の決定 | |
| 16 | 給食青果物査定会の開催 | 健康教育課 | 学校給食で使用する農産物の品質等を確認 | - | 実施 | 継続実施 | 実施 | 給食用農産物の品質の検討および使用品の決定 | |

| No. | 取り組み名称 | 関係部署名 | 業務内容 | 評価指標 | 1次計画 (H24) 実績 | 評価指標 | | 進捗状況等 | |
|-----|------------------------------|---------------------|---|-----------------------|--|--|--|--|--|
| | | | | | | H30 目標 | H25 実績 | H25 業務内容等 | |
| 17 | 小学校給食施設整備 (ドライ化) | 健康教育課 | 全給食室のドライ化 (小学校) | 改修施設数 | 25施設 | 37施設 | 29施設 | 分離新設校建設および給食室新設を行う(力合西、飽田西) | |
| 18 | 中学校共同調理場施設整備 (ドライ化) | 健康教育課 | 全共同調理場のドライ化 (中学校・共同調理場) | 改修施設数 | 11施設 | - | 12施設 | 日吉共同調理場のドライ改修を実施 | |
| 19 | 物資納入業者の衛生管理状況確認 | 保育幼稚園課 食品保健課 | 食品衛生監視票の提出 | - | 継続実施 | 随時 | 継続実施 | 納入業者の食品衛生監視票や配達状況報告書の提出 | |
| 20 | 食の安全に関する情報交換 | 保育幼稚園課 | 園児・職員の健康管理の徹底 | - | 継続実施 | 随時 | 継続実施 | 継続実施 | |
| 21 | 保育所給食に従事する調理師等に対する食品衛生研修会の開催 | 保育幼稚園課 | 保育所給食に従事する調理師等に対する食品衛生の研修会 | 研修会参加園数 | 公立 23園中22園 私立 130園中105園 認可外 96施設中16施設 | 公立 23園中23園 私立 130園中105園 認可外 88施設中25施設 | 公立 23園中22園 私立 131園中113園 認可外 97施設中14施設 | 平成25年6月25日(火) ウエルパルクまもと 1階大会議室 | |
| 22 | 枝肉の衛生対策 | 食肉衛生検査所 | 枝肉の微生物汚染を防ぎ、食肉の衛生を確保する | - | 継続実施 | 継続実施 | 継続実施 | と畜場の衛生管理及びとさつ解体時の衛生管理について監視指導を行った。と畜場の衛生管理については、食肉センターによる衛生管理実施状況の点検及び施設・設備の拭取り検査に基づき、改善指導を行った。また、枝肉の拭取り検査等を実施し、作業関係者と協議して解体処理方法の改善を行った。 | |
| 23 | 全ての牛、馬、豚について1頭ごとの厳密なと畜検査 | 食肉衛生検査所 | と畜場法に基づき、消費者に安全な食肉を提供する | - | 継続実施 | 継続実施 | 継続実施 | 全ての牛、馬、豚について1頭ごとの厳密なと畜検査を行った。 と畜検査頭数 牛：2,466頭 馬：3,363頭 豚：31,417頭 なお、牛のと畜はH25年7月末、豚のと畜はH26年3月末をもって終了した。 | |
| 24 | 食肉中の残留有害物質対策 | 食肉衛生検査所 環境総合センター | 【再掲 I-1】 残留有害物質モニタリング検査 (残留農薬等のポジティブリスト制への対応) | モニタリング検査数 (検体/項目数) | 160検体 12項目 | 160検体 20項目 | 140検体 12項目 | ・対象 健康畜(馬20検体、豚120検体) ・回数 年7回 | |
| 25 | 薬局、医薬品販売業の店舗立入り検査 | 医療政策課 | 薬局、医薬品販売業及び毒物劇物販売業への立入り検査 | 立入検査施設数 | 103 | 100 | 123 | 定期の立入検査と、開設者変更等による新規調査において、健康食品の広告について監視指導を行う。 | |
| 26 | 食に関するホームページへの情報掲載 | 健康づくり推進課 食品保健課 | 食品に関わる正しく役立つ情報を提供 | 情報掲載数 (回) | 140 | 12回/年以上 | 150 | 【安全安心のひろば】のべ133回 緊急情報：9回、お知らせ：63回、食品等の回収情報：61回 【食育のひろば】のべ17回 | |
| 27 | 熊本市食品衛生監視指導計画に基づく市内流通食品の収去検査 | 食品保健課 環境総合センター | 不良食品を排除し、安全な食品の製造・流通の確保 | のべ収去検査件数 (検体) | 385 | のべ 2,400検体 /6年 | 466 | 微生物検査：211検体 理化学検査：224検体 微生物/理化学検査：31検体 目標は、「H25年度熊本市熊本市食品衛生監視指導計画」により、 検査計画数：470検体 | |

※ N022, 23, 24 H27年度から食肉センターのと畜機能移転により事業中止予定

I 生産・流通・消費の各段階における食品の安全性確保

3) 食品などの検査

～安全な食生活を見守るための施策～

【成果指標】

| No. | 項目 | H24(基準) | H30(目標) |
|-----|----------------------------|---------|---------|
| 1 | 「残留農薬」について不安を感じる市民の割合(再掲) | 55.7% | 50% |
| 2 | 「食品添加物」について不安を感じる市民の割合(再掲) | 63.3% | 50% |
| 4 | 「輸入食品」について不安を感じる市民の割合(再掲) | 65.2% | 50% |

【取り組むべき施策】

| |
|--|
| 12) 食品の安全確認検査 13) 残留農薬、動物用医薬品、食品添加物等の検査 14) 検査機器の整備と精度管理 |
|--|

【具体的な取り組み(行政)】

| No. | 取り組み名称 | 関係部署名 | 業務内容 | 評価指数 | 1次計画(H24)実績 | 評価指標 | | 進捗状況等 | |
|-----|------------------------------|---------------------|---|-------------------------------|-----------------------|-------------------------------------|----------------------|--|--|
| | | | | | | H30目標 | H25実績 | H25 業務内容等 | |
| 28 | 食肉中の残留有害物質対策 | 食肉衛生検査所 環境総合センター | 【再掲 I-1】 残留有害物質モニタリング検査 (残留農薬等のポジティブリスト制への対応) | モニタリング 検査数 (検体/項目数) | 160検体 12項目 | 160検体 20項目 | 140検体 12項目 | ・対象 健康畜(馬20検体、豚120検体) ・回数 年7回 | |
| 29 | 熊本市食品衛生監視指導計画に基づく市内流通食品の収去検査 | 食品保健課 環境総合センター | 【再掲 I-2】 不良食品を排除し、安全な食品の製造・流通の確保 | のべ 収去検査 件数 (検体) | 385 | のべ 2,400検体 /6年 | 466 | 微生物検査: 211検体 理化学検査: 224検体 微生物/理化学検査: 31検体 目標は、「H25年度熊本市熊本市食品衛生監視指導計画」により、 検査計画数: 470検体 | |
| 30 | 熊本地方卸売市場食品衛生監視所におけるスクリーニング検査 | 食品保健課 | 市場の流通食品のスクリーニング検査 | のべ 残留農薬 検査数 (検体/項目数) | 64検体 | のべ 480検体 /6年 | 70検体 | 収去品目と同検体を検査実施。 コリンエステラーゼ活性阻害農薬(38項目)検出可能 | |
| 31 | 食材検査 | 健康教育課 環境総合センター | 学校給食に使用する食材等の微生物及び理化学検査 | - | 96検体 138項目 | 継続 実施 | 193検体 218項目 | 給食用食器: 過マンガン酸K消費量、重金属 給食用食材: 放射能測定・食品添加物等 大腸菌、サルモネラ菌、カンピロバクター等 | |
| 32 | 給食用物資の試験検査 | 保育幼稚園課 環境総合センター | 保育所給食に使用する原材料の微生物検査 | - | 年1回 (6検体/11 項目) | 年1回 | 年1回 (3検体 /5項目) | 3検体5項目実施 | |
| 33 | 食品の安全安心対策検査 | 食品保健課 環境総合センター | 【再掲 I-1】 残留農薬の検査 | のべ 残留農薬 検査数 (検体/項目数) | 70検体 214項目 | のべ 480検体 /6年 (最大 250項目) | 86検体/ 214項目 | 国産/輸入 野菜・果実 80検体/年 輸入 冷凍野菜 6検体/年 目標は、「H25年度熊本市熊本市食品衛生監視指導計画」により、検査計画数: 86検体 | |
| 34 | 分析精度管理 | 環境総合センター | 外部精度管理、検査機器の保守点検、検査用試薬の管理、検査技術研修 | 外部精度 管理 | 6回/年 | 6回/年 | 6回/年 | 理化学: 食品添加物検査Ⅱ 残留動物用医薬品検査 残留農薬検査Ⅱ 微生物: 一般細菌数測定検査 黄色ブドウ球菌検査 E.coli検査 | |

※ N028 H27年度から食肉センターのと畜機能移転により事業中止予定

I 生産・流通・消費の各段階における食品の安全性確保

4)消費段階における食品の安全性の確保

～食の安全安心について高い知識を持つ消費者の育成～

【成果指標】

| No. | 項目 | H24(基準) | H30(目標) |
|-----|----------------------------------|---------|---------|
| 1 | 「残留農薬」について不安を感じる市民の割合(再掲) | 55.7% | 50% |
| 2 | 「食品添加物」について不安を感じる市民の割合(再掲) | 63.3% | 50% |
| 3 | 「食品の不正(偽装)表示」について不安を感じる市民の割合(再掲) | 51.6% | 40% |
| 4 | 「輸入食品」について不安を感じる市民の割合(再掲) | 65.2% | 50% |
| 5 | 食品の安全性や食品衛生に関する活動に参加している市民の割合 | 8.9% | 15% |
| 6 | 食品を購入するたびに表示を確認している市民の割合 | 40.2% | 55% |

【取り組むべき施策】

| |
|---|
| <p>15) 家庭、職場、学校等における食品衛生知識の普及と実践 16) 世代ごとのリスクコミュニケーションの充実 17) 食の安全安心について高い知識を持つ消費者の育成</p> |
|---|

【具体的な取り組み(行政)】

| No. | 取り組み名称 | 関係部署名 | 業務内容 | 評価指数 | 1次計画(H24)実績 | 評価指標 | | 進捗状況等 | |
|-----|--------------------------|-------------------|--|-----------|------------------------|---------------|----------------|--|-----------|
| | | | | | | H30目標 | H25実績 | H25 業務内容等 | |
| 35 | 食に関するホームページへの情報掲載 | 健康づくり推進課 食品保健課 | 【再掲 I-2】 食品に関わる正しく役立つ情報を提供 | 情報掲載数(回) | 140 | 12回/年以上 | 150 | 【安全安心のひろば】のべ133回 緊急情報：9回、お知らせ：63回、食品等の回収情報：61回 【食育のひろば】のべ17回 | |
| 36 | 食中毒予防ポスターコンクール | 食品保健課 | 食中毒予防ポスターコンクールによる衛生意識の向上 | 開催回数 | 1回/年 | 1回/年 | 1回/年 | (第14回) 募集期間； H25年6月3日～21日 募集対象； 熊本市内の小学生 表彰式； 8月1日(木) | |
| 37 | 食の安全安心体験事業 | 食品保健課 | 《田崎市場体験》 小学生以上の親子をはじめとする消費者や食品衛生監視員養成施設の大学生を対象に、田崎市場における食品の取り扱いと食品の検査を体験する。 | のべ参加人数(人) | 84 | のべ600人/6年 | 80 | 大学生対象：平成25年7月27日(土) 49名 親子等対象：平成25年8月3日(土) 31名 場所：熊本地方卸売市場内関連施設 | |
| 38 | | | 《一日食品衛生監視員体験》市民や短大生等を対象に、施設の見学や食品表示の見方等の衛生教育を行う。 | | | | | 32 | のべ270人/6年 |
| 39 | 食品衛生教育講座 | 食品保健課 | 食の安全安心に関するフォローアップ講座等を開催 | のべ受講者数(人) | - | のべ600人/6年 | 34 | 開催日：平成26年2月22日(土) 対象：「田崎市場体験」及び「一日食品衛生監視員体験」参加者 場所：熊本みそ会館 | |
| 40 | 出前教室・講座、講習会等による衛生教育や情報提供 | 食品保健課 | 【再掲 I-2】 行政機関、教育機関等の職員が講師として地域に出向き講座や教室を開催 | のべ受講者数(人) | 8,119 | のべ60,000人/6年 | 10,824 | 食品業者等を対象とした衛生教育 92回 市民対象の講座 86回 その他講習会等 9回 を実施 ※今後も、市民の食品衛生知識の啓発や食品業者等の衛生意識向上のため様々な働きかけを行いながら講座等を開催する | |
| 41 | 消費者団体連絡会支援 | 商工振興課 消費者センター | 消費者団体が実施・参加する食の安全安心活動への支援 | - | 説明会・セミナー参加 | 継続実施 | 説明会・セミナー参加 | ・熊本県主催「地産地消のつどい」「食の安全セミナー」「食の安全安心の集い～農薬を知ろう～」 「食品中の放射性物質対策に関する説明会」参加 ・九州農政局主催「野菜・果物消費拡大セミナー」参加 | |
| 42 | 生活衛生推進員制度 | 生活衛生課 | 生活衛生推進員による生活衛生全般にわたる学習及び実践 | 推進員数 | 87人/年(185人/3年) 3回/年 | 50人/年 5回/年 | 137人/年 4回/年 | 市民対象のセミナー等を活用し、参加された市民に生活衛生推進員への登録を呼びかけた。 | |

II 熊本市独自の食品衛生の確保

1)熊本市版食品衛生管理の普及と実践

～熊本の実情を踏まえた食品衛生管理の仕組みづくり～

【成果指標】

| No. | 項目 | H24(基準) | H30(目標) |
|-----|-----------------------------|---------|---------|
| 7 | 食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合 | — | 50% |

【取り組むべき施策】

18) 効果的な監視・指導の充実
19) 熊本市食品自主衛生管理評価事業(熊本市版HACCP)の展開

【具体的な取り組み(行政)】

| No. | 取り組み名称 | 関係部署名 | 業務内容 | 評価指数 | 1次計画(H24)実績 | 評価指標 | | 進捗状況等 | |
|-----|-------------------------------|-------|---------------------------------------|------------|-------------|---------|--------|--|--|
| | | | | | | H30目標 | H25実績 | H25 業務内容等 | |
| 43 | 熊本市食品衛生監視指導計画に基づく監視・指導 | 食品保健課 | 【再掲 I-2】食品・施設のリスクの検証と効果的な監視・指導への反映 | 監視ポイント数 | 23,859 | 年度ごとに策定 | 20,910 | 春季、夏期、年末・年始に業種等に応じた一斉臨検を実施。 ※ 目標は、「H25年度熊本市熊本市食品衛生監視指導計画」により、監視ポイント数； 22,050ポイント ※今後も、効率的な監視指導の実施のため、業種・ランクに応じた計画的な監視指導を実施していく | |
| 44 | 熊本市食品自主衛生管理評価制度(熊本市版HACCP)の展開 | 食品保健課 | 自主評価基準の設定、HACCPの概念を取り入れた施設の養成、認証施設の検証 | のべ取り組み施設数 | 16施設 | のべ60施設 | 19施設 | 食品製造業を中心に飲食店や給食施設に取り組み支援を実施し、2施設の新規取り組みがあった。 ※引き続き、工業団地や大量調理施設を中心に取り組み支援を実施する | |
| 45 | | | | うち、のべ認証施設数 | 15施設 | のべ30施設 | 16施設 | 新規認証施設： 1施設 ※引き続き、積極的な取り組み支援を実施する | |
| 46 | 熊本市食品等自主衛生管理優良事例紹介事業 | 食品保健課 | 食品等事業者の取組内容等をホームページ等で紹介 | のべ紹介施設数 | — | のべ100施設 | — | 実施要領案の作成 他の食品等事業者の模範となる自主衛生管理を実施している食品等事業者の取組内容等をホームページ等で紹介し、食品等事業者全体の衛生レベルの向上を図るとともに、消費者の食に対する安心に寄与する。 | |

II 熊本市独自の食品衛生の確保

2) 食品の大量取扱業者との情報の共有

～情報の共有による食品の安全性の確保～

【成果指標】

| No. | 項目 | H24(基準) | H30(目標) |
|-----|---------------------------------|---------|---------|
| 7 | 食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合(再掲) | - | 50% |

【取り組むべき施策】

| |
|------------------------|
| 20) 行政、市場、大型量販店の情報の共有化 |
|------------------------|

【具体的な取り組み(行政)】

| No. | 取り組み名称 | 関係部署名 | 業務内容 | 評価指数 | 1次計画(H24)実績 | 評価指標 | | 進捗状況等 | |
|-----|--------------|-------|--|----------|-------------|---------|-------|---|--|
| | | | | | | H30目標 | H25実績 | H25 業務内容等 | |
| 47 | 食品安全情報ネットワーク | 食品保健課 | 大型量販店等の食品等事業者とのネットワークを活用した情報提供と衛生意識の高揚 | 情報提供(回数) | 33回 | 24回/年以上 | 34回 | 対象：29団体（143店舗 H26.3月末現在） うち 定期情報：12回（検査） 12回（自主回収・苦情） 緊急情報：4回（食中毒注意報） 臨時情報：5回（各種案内） | |

II 熊本市独自の食品衛生の確保

3) 熊本の食に関する文化や製品の振興に向けた安全性の確保

～安全と信頼性の確保によるイメージ向上支援～

【成果指標】

| No. | 項目 | H24(基準) | H30(目標) |
|-----|---------------------------------|---------|---------|
| 7 | 食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合(再掲) | - | 50% |

【取り組むべき施策】

- 21) 熊本の水の衛生確保
- 22) 農林水産物、特産品、土産品などの衛生確保
- 23) 健康づくりに協力する飲食店等への支援

【具体的な取り組み(行政)】

| No. | 取り組み名称 | 関係部署名 | 業務内容 | 評価指数 | 1次計画(H24)実績 | 評価指標 | | 進捗状況等 | |
|-----|------------------------|-------------------|---|---------|-------------|---------|--------|---|--|
| | | | | | | H30目標 | H25実績 | H25 業務内容等 | |
| 48 | 熊本市食品衛生監視指導計画に基づく監視・指導 | 食品保健課 | 【再掲 I-2】 熊本から全国に発信または流通する食品や飲料水の衛生確保及び宿泊施設、飲食店等の衛生確保 | 監視ポイント数 | 23,859 | 年度ごとに策定 | 20,910 | 春季、夏期、年末・年始に業種等に応じた一斉臨検を実施。 ※ 目標は、「H25年度熊本市熊本市食品衛生監視指導計画」により、監視ポイント数； 22,050 ポイント ※今後も、効率的な監視指導の実施のため、業種・ランクに応じた計画的な監視指導を実施していく | |
| 49 | 健康くまもと21(健康づくりできます店) | 健康づくり推進課 食品保健課 | 地産地消、栄養成分表示など健康づくりに積極的に取り組む飲食店等の認知と市民への周知を図る。 | 登録店舗数 | 110 | 200店舗 | 78 | 栄養表示やバランスメニューの提供、健康づくりに関する情報発信等、市民への取組みを支援する飲食店等を登録し、啓発を図った。 | |
| 50 | 水質監視 | 水保全課 | 地下水質の監視 | 監視率 | 100% | 100% | 100% | 水質汚濁防止法に基づく地下水の水質の常時監視 | |

Ⅲ 国・県・他市町村・庁内関係部署及び食品関係機関との連携

1) 健康危機管理体制の充実及び強化

～初動対応の充実と被害拡大防止～

【成果指標】

| No. | 項目 | H24(基準) | H30(目標) |
|-----|---------------------------------|---------|---------|
| 7 | 食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合(再掲) | - | 50% |

【取り組むべき施策】

24) 初動対応の充実による被害拡大の防止
 25) 新たな健康危機に対応できる体制の構築
 26) 報道発表など公表による被害拡大の防止
 27) 食品衛生監視員等の資質の向上

【具体的な取り組み(行政)】



| No. | 取り組み名称 | 関係部署名 | 業務内容 | 評価指数 | 1次計画(H24)実績 | 評価指標 | | 進捗状況等 | | |
|-----|-----------------------|-----------------------------------|------------------------------|--------|------------------|---------|------------------|--|---------------|----------------|
| | | | | | | H30目標 | H25実績 | H25 業務内容等 | | |
| 51 | 健康危機管理研修会の開催 | 医療政策課 | 健康危機管理研修会の開催 | 開催数(回) | 5回 | 1回/年 | 3回 | <研修会概要> 食中毒予防講演会(食品保健課) 新型インフルエンザ対策研修会(感染症対策課) 健康危機管理訓練 | | |
| 52 | 食品衛生監視員等の資質向上に係る研修 | 食品保健課 | 食品衛生に係る人材の養成及び資質の向上のための研修を実施 | 開催数(回) | 24 | 12回/年以上 | 49 | 課内研修 | 29回 | |
| 53 | 食中毒、苦情発生時の迅速な原因究明 | 環境総合センター 食品保健課 | 健康被害拡大防止のため、迅速な原因究明を行う | - | 200検体 3,420項目 | 随時 | 172検体 1,056項目 | 微生物 理化学 | 153検体 19検体 | 1053項目 19項目 |
| 54 | 食中毒などの健康被害発生時の迅速な報道発表 | 医療政策課 食品保健課 感染症対策課 生活衛生課 | 迅速な報道発表による健康被害拡大防止 | - | 18件 | 随時 | 19件 | 医療政策課 0件 食品保健課 8件 感染症対策課 8件 生活衛生課 3件 | | |

Ⅲ 国・県・他市町村・庁内関係部署及び食品関係機関との連携

2) 食品の安全確保のための連携

～食品流通の広域化・多様化等への備え～

【成果指標】

| No. | 項 目 | H24(基準) | H30(目標) |
|-----|---------------------------------|---------|---------|
| 7 | 食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合(再掲) | - | 50% |

【取り組むべき施策】

28) 国・県・他市町村及び庁内の連携強化
29) 区役所との連携
30) 食品関連事業者団体等との連携

【具体的な取り組み(行政)】

| No. | 取り組み名称 | 関係部署名 | 業務内容 | 評価指数 | 1次計画(H24)実績 | 評価指標 | | 進捗状況等 | |
|-----|-------------------|----------|--------------------------------|--------|-------------------------|--------------------------------------|-------|-----------|---|
| | | | | | | H30目標 | H25実績 | H25 業務内容等 | |
| 55 | 国・県・他市町村との連携強化 | 食品保健課 | 食品の安全性確保の役割を担う国・県・他市町村との連携 | - | 随時 | 随時 | 随時 | 随時 | 国・県主催の会議等に随時参加 |
| 56 | 食の安全安心・食育庁内連絡会の開催 | 関係各課 | 市役所内での、情報の共有化 | 開催数(回) | 2 | 2回/年 | 2 | 2 | 平成25年5月20日 平成25年10月16日 に開催 |
| 57 | 健康危機管理連絡会の開催 | 医療政策課 | 健康危機管理連絡会議の開催 | 開催数(回) | 1回 | 1回/年 | 1回 | 1回 | 連絡会議は、例年通り1回開催。緊急な対応が必要となった場合は、臨時開催、及び幹事会で対応する。 |
| 58 | 熊本市食品衛生協会との連携・協働 | 食品保健課 | 食品衛生責任者の養成講習会などを実施し、食品衛生の向上を図る | - | 7回 | 随時 | 7回 | 7回 | 食品衛生責任者養成講習会 5回 846人 食品衛生責任者実務講習会 2回 229人 |
| 59 | 迅速で正確な検査技術の研究 | 環境総合センター | 健康被害拡大防止のため、迅速で正確な原因究明を行う | - | 新興・輸入感染症検査法の確立(チクングニヤ熱) | 未知物質の検出演習(ウエストナイル熱・インフルエンザH7型検査法の確立) | 可能 | 可能 | 健康危機管理体制の強化(A/H7N9インフルエンザ・FSTSウイルス・MERS) |

【具体的な取り組み(関係団体)】

| 名称 | 関係団体 | H25 取り組み内容 | H25 実績 | 今後の予定 |
|-------------------------|-----------|---|---------------------------------|-------|
| ・食品衛生指導員事業 ・食品衛生普及事業 | 熊本市食品衛生協会 | 1食品衛生指導員による施設の巡回指導 2食品衛生月間(8月)熊本市が主催する食品衛生月間に協賛する。 3「くまもと市食品衛生協会新聞」(機関誌)を四半期毎に発行し、衛生知識の普及を図る。 | 食品衛生指導員数 114名 巡回指導延べ数 4,372件 | 継続実施 |

IV 消費者・生産者・食品関連事業者及び行政の相互理解・信頼関係の確立と推進

1) 市民意見の施策への反映

～お互いの顔が見える関係づくり～

【成果指標】

| No. | 項目 | H24(基準) | H30(目標) |
|-----|---------------------------------|---------|---------|
| 7 | 食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合(再掲) | - | 50% |

【取り組むべき施策】

31) 市の施策に市民等の意見を反映する体制の充実
32) 食の安全安心・食育推進会議の開催

【具体的な取り組み(行政)】

| No. | 取り組み名称 | 関係部署名 | 業務内容 | 評価指数 | 1次計画(H24)実績 | 評価指標 | | 進捗状況等 | |
|-----|--------------------------|---------------------------|--|-------------------|-------------|----------------------|-------------|--|--|
| | | | | | | H30目標 | H25実績 | H25 業務内容等 | |
| 60 | 食品衛生監視指導計画に関する市民からの意見聴取 | 食品保健課 | 食の安全安心ホームページ等を活用した意見聴取と市民意見の反映 | - | 実施 | 実施 | 実施 | 熊本市のホームページ「くまもとの食、安全安心のひろば」において、1食品衛生監視指導計画を公表し、広く市民の意見を求めた。 2夏期、年末の県・市合同の田崎市場一斉取締りの結果を公表した。 3お知らせ情報、食品等の回収情報、緊急速報を掲載した。 | |
| 61 | 生産者・流通機関との情報交換 | 健康教育課 | 栽培方法、農薬等の情報交換 | - | 実施 | - | 実施 | 継続実施 | |
| 62 | 農産物フェアの開催 | 農商工連携推進課 各区役所 農業振興課 | 展示即売と消費者との触れ合いに努める | - | 実行委員会による開催 | 継続実施 | 継続実施 | 市産農産物のPR・消費拡大を図るため、販売会を実施。安全・安心をアピールするとともにふれあいの場の創出を図った。 | |
| 63 | 出前教室・講座、講習会等による衛生教育や情報提供 | 食品保健課 | 【再掲 I-2】 行政機関、教育機関等の職員が講師として地域に Outreach 講座や教室を開催 | のべ 受講者数 (人) | 8,119 | のべ 60,000 人/6年 | 10,824 | 食品営業者等を対象とした衛生教育 92回 市民対象の講座 86回 その他講習会等 9回 を実施 ※今後も、市民の食品衛生知識の啓発や食品営業者等の衛生意識向上のため様々な働きかけを行いながら講座等を開催する | |
| 64 | 消費者代表としての各種委員への就任 | 商工振興課 消費者センター | 消費者の立場からの意見を行政の施策等に反映する | - | 委員就任、会議への出席 | 継続実施 | 委員就任、会議への出席 | ・「くまもと食の安全・安心県民会議」構成団体 ・熊本県・九州農政局・JA等主催の各種委員会・会議出席 ・九州農政局「農林水産情報交流モニター交流会及び顔が見える関係づくり」参加 | |
| 65 | 食の安全安心・食育推進会議の開催 | 健康づくり推進課 食品保健課 関係各課 | 食の安全安心・食育推進計画の進捗状況や市民意見の反映 | 開催数 (回) | 6 | 2回/年 | 2 | 平成25年5月27日 平成25年10月30日 に開催 | |
| 66 | 熊本市食品等自主衛生管理優良事例紹介事業 | 食品保健課 | 【再掲 II-1】 食品等事業者の取組内容等をホームページ等で紹介 | のべ紹介 施設数 | - | のべ 100施設 | - | 実施要領案の作成 他の食品等事業者の模範となる自主衛生管理を実施している食品等事業者の取組内容等をホームページ等で紹介し、食品等事業者全体の衛生レベルの向上を図るとともに、消費者の食に対する安心に寄与する。 | |

IV 消費者・生産者・食品関連事業者及び行政の相互理解・信頼関係の確立と推進

2) 食や健康被害に関する情報提供の充実

～正確な情報が確実に届く環境づくり～

【成果指標】

| No. | 項目 | H24(基準) | H30(目標) |
|-----|-----------------------------------|---------|---------|
| 7 | 食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合(再掲) | - | 50% |
| 8 | 食事・食品等に関する正しい知識や情報を得ようと努めている市民の割合 | - | 75% |

【取り組むべき施策】

| |
|----------------------|
| 33) 正確で迅速な食品情報の収集と発信 |
|----------------------|

【具体的な取り組み(行政)】

| No. | 取り組み名称 | 関係部署名 | 業務内容 | 評価指数 | 1次計画(H24)実績 | 評価指標 | | 進捗状況等 | |
|-----|--------------------------|-------------------|---|-----------|-------------|--------------|-----------|--|--|
| | | | | | | H30目標 | H25実績 | H25 業務内容等 | |
| 67 | 市政だより、マスメディアを活用した情報の提供 | 食品保健課 | 食品に関わる正しく役立つ情報を提供 | - | 24回 | 随時 | 30回 | 市政だより 9件 シティFM 6件 FM熊本 5件 | |
| 68 | 食に関するホームページへの情報掲載 | 健康づくり推進課 食品保健課 | 【再掲 I-2】 食品に関わる正しく役立つ情報を提供 | 情報掲載数(回) | 140 | 12回/年以上 | 150 | 【安全安心のひろば】のべ133回 緊急情報：9回、お知らせ：63回、食品等の回収情報：61回 【食育のひろば】のべ17回 | |
| 69 | 感染症に関する情報提供 | 感染症対策課 | 熊本市感染症情報センターホームページに最新動向を掲載 | - | 随時 | - | 随時 | 熊本市感染症情報センターホームページに、流行している感染症や、インフルエンザ、感染性胃腸炎等の感染症疾病に関して、患者発生状況や予防法等の情報提供を行う。 | |
| 70 | 出前教室・講座、講習会等による衛生教育や情報提供 | 食品保健課 | 【再掲 I-2】 行政機関、教育機関等の職員が講師として地域に出向き講座や教室を開催 | のべ受講者数(人) | 8,119 | のべ60,000人/6年 | 10,824 | 食品営業者等を対象とした衛生教育 92回 市民対象の講座 86回 その他講習会等 9回 を実施 ※今後も、市民の食品衛生知識の啓発や食品営業者等の衛生意識向上のため様々な働きかけを行いながら講座等を開催する | |
| 71 | ノロウイルス食中毒注意報の発令 | 食品保健課 | 食中毒注意報を熊本市全域に発令し、ノロウイルス食中毒の注意喚起をおこなう。 | - | H24年11月21日 | 必要時 | H25年12月4日 | 「熊本市ノロウイルス食中毒注意報発令要綱」に基づき、平成25年12月4日にノロウイルス食中毒注意報を発令。(至平成26年3月31日) 報道、関係団体を通じ周知を図るとともに、ウェルパルクまもと入り口横に看板を掲示した。 なお、平成25年度市内でのノロウイルス食中毒は、2件発生(患者数38名) | |
| 72 | 食品安全情報ネットワーク | 食品保健課 | 【再掲 II-2】 大型量販店等の食品等事業者とのネットワークを活用した情報提供と衛生意識の高揚 | 情報提供(回数) | 33回 | 24回/年以上 | 34回 | 対象：29団体(143店舗 H26.3月末現在) うち定期情報：12回(検査) 12回(自主回収・苦情) 緊急情報：4回(食中毒注意報) 臨時情報：5回(各種案内) | |

IV 消費者・生産者・食品関連事業者及び行政の相互理解・信頼関係の確立と推進

3) 食に関する相談窓口の充実

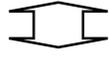
～正確な情報が確実に届く環境づくり～

【成果指標】

| No. | 項目 | H24(基準) | H30(目標) |
|-----|---------------------------------|---------|---------|
| 7 | 食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合(再掲) | - | 50% |

【取り組むべき施策】

- 34) 消費者センターを核とした総合的な相談窓口の充実
- 35) 区役所との連携
- 36) 食品に関する相談窓口の充実



【具体的な取り組み(行政)】

| No. | 取り組み名称 | 関係部署名 | 業務内容 | 評価指数 | 1次計画(H24)実績 | 評価指標 | | 進捗状況等 | |
|-----|--------------|------------------|--|------------|-------------------|-------|-------------------|--|--|
| | | | | | | H30目標 | H25実績 | H25 業務内容等 | |
| 73 | 消費者生活相談 | 商工振興課 消費者センター | 食に関する正しい情報提供を通して、自立した消費者を育成する。 | - | 食に関する相談件数 312件 | 継続実施 | 食に関する相談件数 524件 | 消費生活に関する相談の一部として相談を行った。 | |
| 74 | 食の安全安心に関する相談 | 食品保健課 | 食の安全安心に関する相談を受け、正しい情報を提供するとともに、食品等に関する苦情の原因等の調査を実施 | 苦情 受付件数 | 231 | 随時 | 313 | 食品業者や市民等からの相談に随時対応。 体調異常 101件 異物混入 51件 腐敗・変敗 16件 カビの発生 10件 異味・異臭 16件 表示 17件 施設 47件 その他 55件 | |

V 食育を通じた食の安全安心の確保

1) 食の安全性や栄養等に関する理解の促進

～安心して食生活を送るための食育～

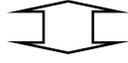
【成果指標】

| No. | 項目 | H24(基準) | H30(目標) |
|-----|-------------------------|---------|---------|
| 9 | 食品の安全性に関する知識があると思う市民の割合 | 49.6% | 60% |

【取り組むべき施策】

| |
|----------------------------|
| 37) 食の安全性に関する体験を通じた食育活動の推進 |
| 38) 食育を通じた食の安全に関する情報の共有化 |
| 39) 基礎的な調査・研究等の実施 |

【具体的な取り組み(行政)】



| No. | 取り組み名称 | 関係部署名 | 業務内容 | 評価指数 | 1次計画(H24)実績 | 評価指標 | | 進捗状況等 | |
|-----|--------------------------|----------------------------|--|-----------|-------------|--------------|--------|--|-----------|
| | | | | | | H30目標 | H25実績 | H25 業務内容等 | |
| 75 | 栄養管理、調理師研修会(衛生教育)の開催 | 食品保健課 | 【再掲 I-2】 栄養管理、調理師研修会開催(食中毒予防、栄養管理) | のべ受講者数(人) | 729 | のべ4,200人/6年 | 423 | 調理師研修会 1回 栄養管理研修会 2回 合同研修会 1回 を開催 | |
| 76 | 出前教室・講座、講習会等による衛生教育や情報提供 | 食品保健課 | 【再掲 I-2】 行政機関、教育機関等の職員が講師として地域に出向き講座や教室を開催 | のべ受講者数(人) | 8,119 | のべ60,000人/6年 | 10,824 | 食品業者等を対象とした衛生教育 92回 市民対象の講座 86回 その他講習会等 9回 を実施 ※今後も、市民の食品衛生知識の啓発や食品業者等の衛生意識向上のため様々な働きかけを行いながら講座等を開催する | |
| 77 | 食の安全安心体験事業 | 食品保健課 | 【再掲 I-4】 《田崎市場体験》 小学生以上の親子をはじめとする消費者や食品衛生監視員養成施設の大学生を対象に、田崎市場における食品の取り扱いと食品の検査を体験する。 | のべ参加人数(人) | 84 | のべ600人/6年 | 80 | 大学生対象：平成25年7月27日(土) 49名 親子等対象：平成25年8月3日(土) 31名 場所：熊本地方卸売市場内関連施設 | |
| 78 | | | 【再掲 I-4】 《一日食品衛生監視員体験》市民や短大生等を対象に、施設の見学や食品表示の見方等の衛生教育を行う。 | | | | | 32 | のべ270人/6年 |
| 79 | 国民健康・栄養調査事業 | 健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課 | 国民健康・栄養調査(年1回)、県民健康・栄養調査(5年に1回)により身体の状態、栄養摂取量及び生活習慣の状況を明らかにする | - | 3地区実施 | 継続実施 | 2地区実施 | 国民健康・栄養調査 2地区実施 | |
| 80 | 市民健康栄養調査 | 健康づくり推進課 各区役所 保健子ども課 | 市民の健康状態の実態を把握する | 実施回数 | 実施なし | 1回/年 | 実施なし | 実施なし | |

平成25年度 関係団体における具体的な取り組み

<第3章 食の安全・安心>

Ⅲ 国・県・他市町村・市内関係部署 及び食品関係機関との連携

2)食品の安全確保のための連携 ～食品流通の広域化・多様化等への備え～

<平成25年度実績と今後の予定>

| 名称 | 関係団体 | H25 取り組み内容 | H25 実績 | 今後の予定 |
|-------------------------|------------|--|--|-------|
| 1食品衛生指導員事業 2食品衛生普及事業 | 熊本市食品衛生協会 | 1食品衛生指導員による施設の巡回指導 2食品衛生月間（8月1日～8月31日） ・熊本市が主催する食中毒予防ポスターコンクールの後援、啓発リーフレットの作成配布、シティFM、スポット広報など ・機関紙の発行（四季報） | 食品衛生指導員数 114名 巡回指導延べ数 4,372件 | 継続実施 |
| 食品表示に関する監視及び調査 | 熊本県熊本農政事務所 | 1 適正な食品の品質表示を確保するため、生鮮食品及び加工食品の表示方法について、県内の小売店舗等を対象とした巡回調査・指導を行う。 2 直売所責任者及び農産加工品関係者研修会 3 熊本県食品表示監視協議会 | 1同左 巡回調査・指導を実施（熊本市内）（上益城地域） 2研修会を実施（宇城地域） 31日食品衛生監視員巡回指導を実施（上益城地域） | 未定 |

V 食育を通じた食の安全・安心の確保（共通）

1)食の安全性や栄養等に関する理解の促進 ～安心して食生活を送るための食育～

<平成25年度実績と今後の予定>

| 名称 | 関係団体 | H25 取り組み内容 | H25 実績 | 今後の予定 |
|-----------------|----------------|---|---|-------------------------|
| 食の安全安心確保に関する研修会 | 熊本市農産物直販所連絡協議会 | 総会時に、関係機関より、農薬の適正利用等の説明を行い、会員の「安心・安全」に対する意識向上を図る。その他、市内の直販所・市産農産物の認知度向上を図る。 | H25.7 総会開催。食品表示に関する研修を実施 H25.10 お城まつり、城下町大にぎわい市へ出展 | 食の安全安心確保に関する研修会への積極的な参加 |